



決勝レポート

2026/4/4 Rd-1 モビリティリゾートもてぎ

天候：雨 気温：13℃ 出走台数：24台

2026年全日本スーパーフォーミュラ選手権開幕を迎えたモビリティリゾートもてぎ。新たなレースフォーマットにより、土曜日のRd1も日曜日のRd2と同じ、周回数が37周、タイヤ交換義務のピットストップウィンドウは10周目終了時からとなっているが、予選後に降り出した冷たい雨により、開幕戦もてぎはピットストップ義務のないウェットレースに。スタート時刻を迎えても雨量は多く、セーフティカー（以下SC）スタートしたものの、雨量は減る見込みがなく、3周目に赤旗により一時中断。およそ1時間後の15時55分、SCスタートでレースは再開となったが、その後もSC先導走行が続き、16周目にレースはリスタート。しかしその直後、複数のコースアウトや接触が発生したことから、再びSC導入となり、レース残り時間わずか6分のタイミングでレースは2度目の再開。2番手を走る太田選手は、ワンチャンスにかけて1コーナーで首位岩佐選手に並ぶと、2コーナーでオーバーテイクし首位に。この直後コースアウト車両のため三度SC導入となり、このまま2時間の最大延長時間を迎え、レースはSC先導のまま終了。太田選手は見事ファステストラップと開幕優勝を飾ったが、牧野選手はSCランが続く中、殆どチャンスに恵まれず11位で開幕戦を終えることとなった。

5：牧野任祐 選手 11位

決勝レースのほとんどをSCランで終えることになり、中断グループの水煙の中ではわずかなチャンスも得られず、何もできずに終わってしまいました。

とにかく今回は予選順位がすべてでした。

予選のロスがなければ違った結果だったと思います。

明日はおそらくドライコンディションで予選、決勝を走ることが出来ると思うので、本来のパフォーマンスでレースできるよう準備をします。

6：太田格之進 選手 優勝

雨量が多くレースができるかどうか心配でした。レースペースには自信があったし、悪天候の中来場してくれたファンの皆さんのことを思うとレース成立ができてよかったです。チャンスは1度しかないと考えていたので、SCラン中も集中力を切らさずに一発で捉えることが出来ました。

開幕戦を優勝でスタートできたことが嬉しいです、明日もこの勢い維持して開幕2連勝出来たら最高ですね。